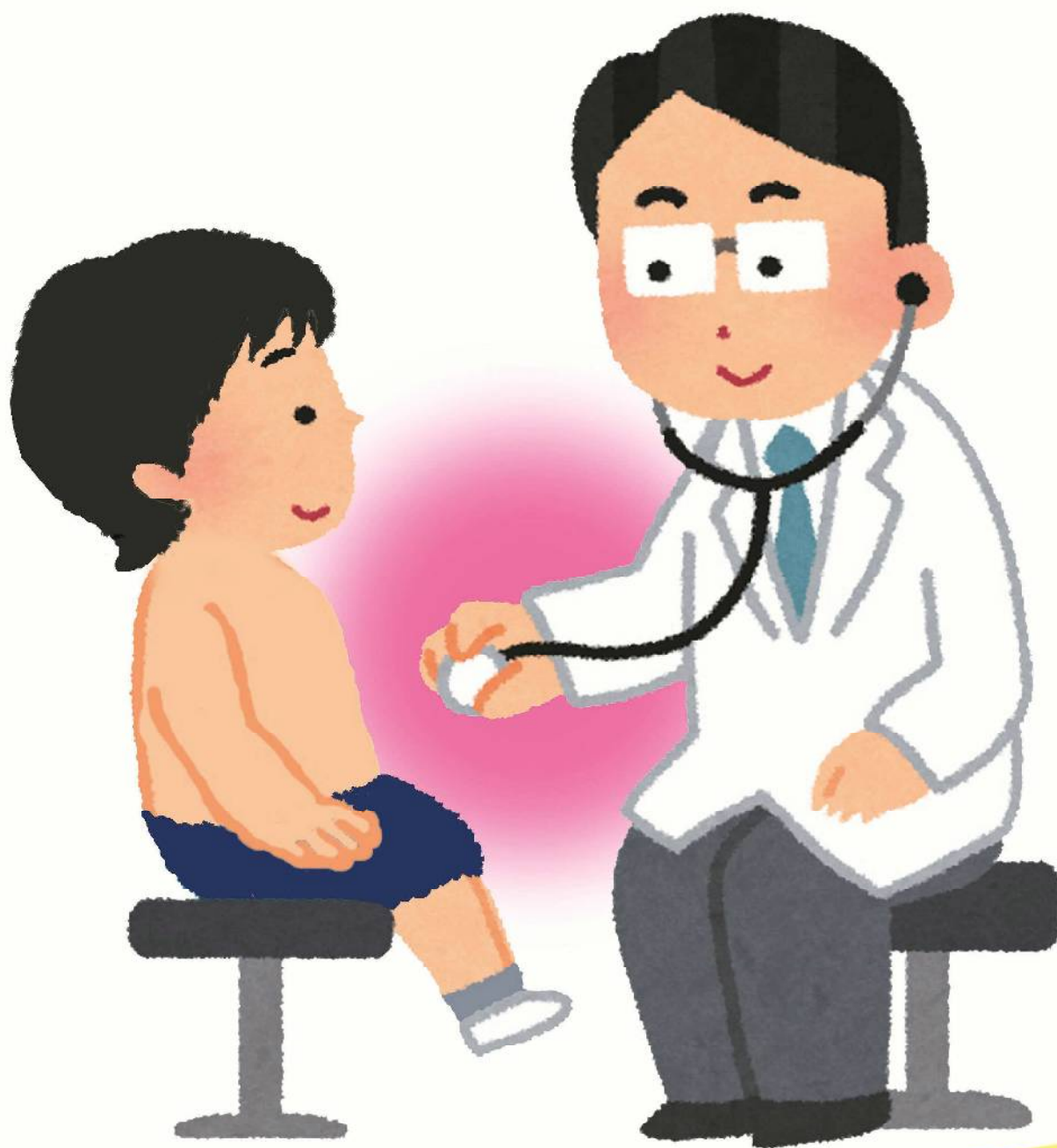
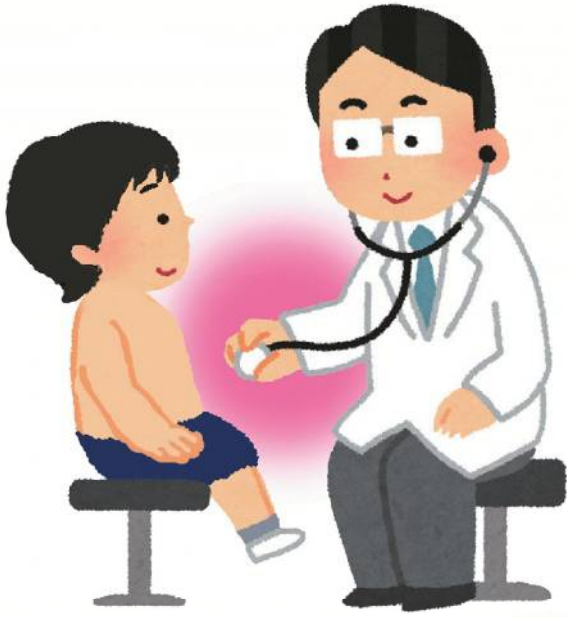




学校健診での脱衣にご協力を

保護者・学校関係者 各位



・学校健診において、「視診」の果たす役割はとても重要です。

・ガサガサと体表面で「皮膚と衣服がこすれる音」は、胸腔内から聞こえる心臓病の「心雑音」や、喘息などの「異常呼吸音」をマスクして、聴こえなくしてしまいます。これらを聴き洩らさないために、「脱衣」による聴診が必要です。

・時間的・場所的な制約の大きい学校健診では、「脱衣」へのご理解・ご協力が不可欠です。

健診での脱衣

思春期になって、脱衣を恥ずかしく感じるのは自然なことです。

そのため学校健診では、周りから健診の様子が見えないよう、ついたての設置等を行い、児童・生徒のみなさんに安心して健診を受けてもらえるよう配慮しています。

視診の役割

学校健診では、側わん等の疾病だけでなく、虐待や自傷などすぐに教育的な介入を要する徴候を衣服に隠れた部位から見出すことがあります。「視診」を十分に行うためにも、健診時の「脱衣」が大切です。

- 学校医は、みなさんの健康に関する変化を見逃さないため、脱衣を説得することに時間を費やすよりも、「健診」にできる限り多くの時間を割きたいと考えています。
- ご家庭においても、「健診」へのご理解とご協力をお願いします。

